

～一つひとつの歩みを重ね、 小豆島と日本の創生を目指して～

平成27年度一般会計当初予算 **92億600万円**

I. 健康づくり

◆ 公立病院の再編整備	1,076,257千円
◆ 国民健康保険適正化事業	21,829千円
◆ 多世代交流・多機能施設の整備	50,400千円
◆ 外出困難者への外出支援	2,110千円
◆ バリアフリーの島に向けた 観光施設の整備	3,000千円
◆ 福祉のまちづくり推進事業 等	4,686千円

II. 子育て・人づくり

◆ 認定こども園の整備	14,256千円
◆ 保育所の定員増を図る整備補助	25,358千円
◆ 保育料減免事業	13,526千円
◆ 高校・大学等奨学資金貸付事業	110,640千円
◆ ICT教育環境の充実	20,000千円
◆ 巨木を語ろう全国フォーラムの開催 等	500千円

III. 産業づくり

◆ 地場産業の物流支援	50,000千円
◆ 高齢者等の買い物支援サービス (食料品等の移動販売等)	6,300千円
◆ 空き家の活用及び適正管理	18,872千円
◆ 有害鳥獣捕獲対策等の強化	37,100千円
◆ 新規就農者の支援	6,000千円
◆ 野犬問題集中対策事業 等	5,103千円

IV. 文化・アート総台戦略

◆ 広聴・広報体制の見直し	4,983千円
◆ 水族館を含めた海の魅力づくり	70,000千円
◆ 石の文化の世界遺産化事業	14,000千円
◆ 映画・演劇の島プロジェクト	3,693千円
◆ 国際交流アドバイザーの設置	2,000千円
◆ 文化財保存事業（古文書調査、文化財の発掘） 等	3,662千円

「小豆島の素晴らしい自然、文化、伝統、産業、絆―これらの宝物は、努力なくして守り、磨き、次の世代に引き継いでいくことができないものです。その担い手は、小豆島に生まれ育った私たち自身と、小豆島に移住されたり、交流したり、関係を持っていただけの人々であり、皆さんの知恵と力を合わせて、全力で取り組むことが必要です。平成27年度は、その一歩を踏み出す大切な年です。

今年度当初予算は、前年度に比べ、2億8千3百万円（3.0%）減の92億6百万円となっています。

今月号では、「小豆島と日本の創生」を目指す施策として6つの柱を中心に予算を紹介いたします。先月号の平成27年度施政方針と一緒にご覧いただければ、よりご理解いただけたと思います。



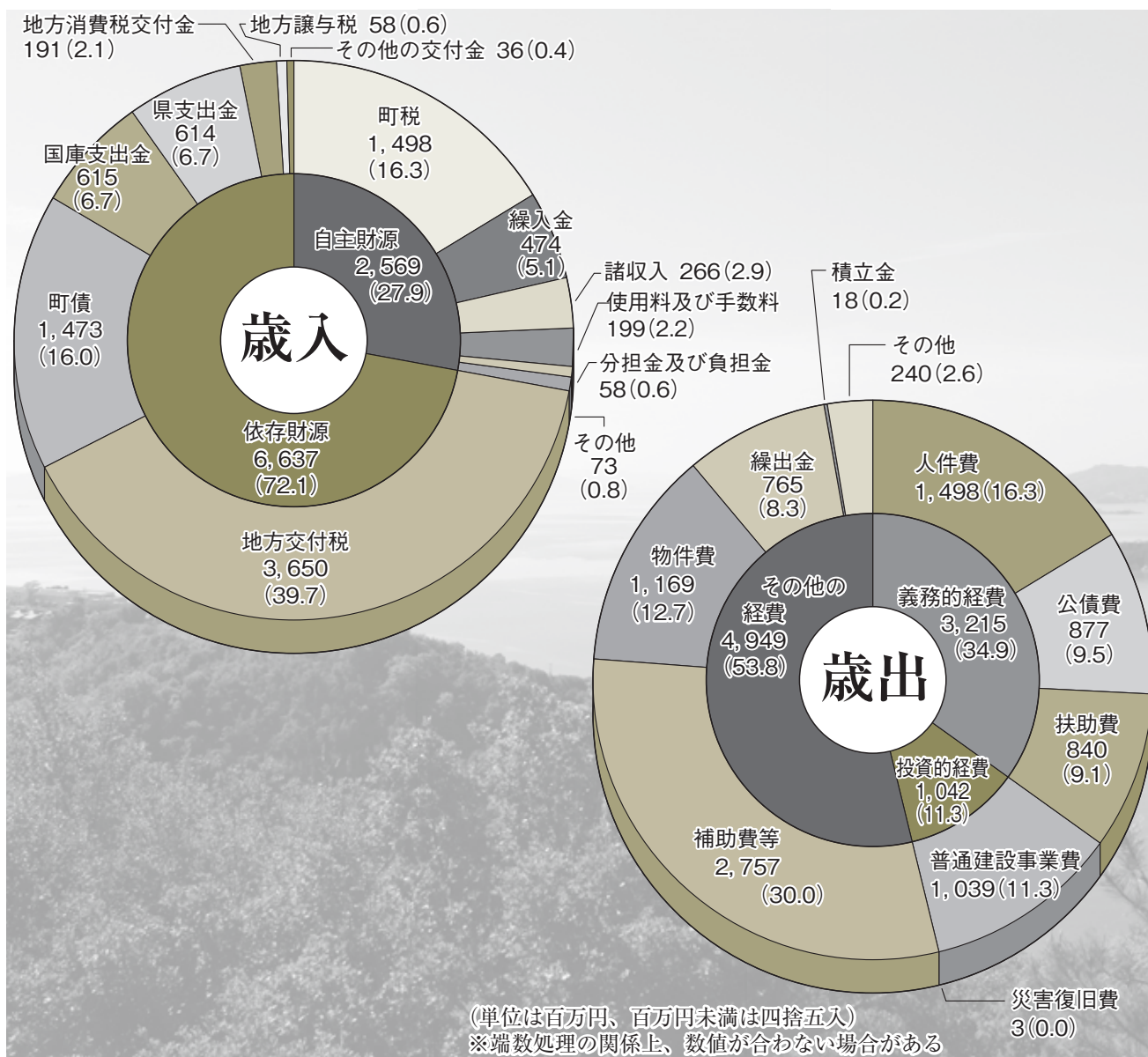
V. 交通・通信の充実

- ◆ 高齢者免許自主返納支援事業 10,830千円
- ◆ 公共交通機関の利用促進 340千円
- ◆ オリーブバスの経営改革等 4,200千円
- ◆ 路線バスの運行業務委託 3,600千円
- ◆ 電気自動車の普及促進 1,148千円
- 等

VI. 防災対策

- ◆ 小豆消防庁舎等の整備負担 173,091千円
- ◆ 馬木地区の避難広場等の整備 28,000千円
- ◆ 防災拠点施設への
太陽光発電設備の導入 85,212千円
- ◆ 各地区の防災訓練への支援 2,000千円
- ◆ 災害対応備蓄品の整備 1,050千円
- 等

○一般会計 歳入歳出予算グラフ



私たち一人あたりに使われる金額 **61万3,979円** 町が賄える金額 **17万1,335円**
 ※H27. 4. 1 住民基本台帳人口14,994人および自主財源により算出しています。

問い合わせ 小豆島町 企画振興部企画財政課 (池田庁舎) ☎0879-75-1800